

女子・ユース審判研修会①

2026. 10. 10 津別町多目的運動公園サッカー場

参加者 2名（女子2級・ユース3級）

インストラクター 村山 尚哉 氏（サッカー1級審判インストラクター、HKFA 審判委員会指導者グループリーダー）
大石かおり （サッカー2級審判インストラクター、OKFA 女子・ユース部会部長）

研修内容 実技：4地区カブス交流大会 主審（各2試合）
講義：映像を見てのディスカッション

参加者の感想

○ 鈴木陽和

今回の研修会では、主審を2試合担当させていただきました。2試合を通して、自分の課題を再認識することができ、改善に向けてたくさんのチャレンジをすることができました。また座学では、今回の自分たちの試合を動画で振り返りました。この時は何を考えて動いていたか、次にどのような展開が起こると予測していたかなどを具体的に言語化することで、今までよりもより深い振り返りにすることができました。今回見つけた課題をしっかりと理解して、改善できるようトレーニングを続けていきたいです。

参加するにあたって、指導していただいたインストラクターの方々、サポートしていただいた3種委員会の方々ありがとうございました。

○ 高久誠弘

今回の研修では映像を使いディスカッションを行いました。映像を使うことで自分のポジションが本当に適切なのか、もっと良いポジションを取る為にできることを深く話し合う事ができました。適切なポジションを取ることが説得力のある判定に繋がり、選手が安心してプレーできる環境づくりに不可欠であると再認識いたしました。今回の学びを日頃のトレーニングや実際の試合に活かし、審判員としてさらに成長できるよう努めてまいります。

最後になりますが、ご指導および手厚いサポートをいただきました北海道サッカー協会の村山様に深く感謝申し上げます。

今回は、HKFA 審判委員会の村山様に研修会に参加していただきました。参加した2名は、全国大会・全道大会で副審としてたくさん稼働し、審判員としての経験や知識を増やしていますが、今回は主審としての実技研修でした。ポジショニングや動き出しなど、映像で振り返りながら意見交換し、改善点を確認しました。指導していただいた村山様、研修の場を提供していただいた3種の皆様、誠にありがとうございました。

